

君津市国際交流協会 会報

No. 4

Kimitsu International Exchange Society (KIES)

1997年4月発行

〔発行〕KIES 〔編集〕総務委員会

〒299-11 君津市久保2-11-21 Tel.(54)9877

郵便物やFAXは下記へ
君津市企画部国際交流室
〒299-11 君津市久保 2-13-1
FAX (56) 1628 TEL (56) 1265

“ネプチューン” “DUOきょうと” きみつに響いたアンサンブル

国際交流フェスタin きみつ

世界最小の尺八を説明

尺八を横にして



DUOきょうと

ジョン海山ネプチューン

ネプチューンに学ぶもの

- A 「国際交流フェスタinきみつ」が第1面か。記事が少し古くないかな？
- B いや、これこそ第1面だよ。
- A へえ？ どうして？
- B 例えば楽器さ。「DUOきょうと」の1人が〈バイオリン〉という西欧の楽器を弾き、ネプチューンが〈尺八〉という日本の楽器を吹いた。つまり、異文化の理解と交流だよ。そこから感動の音楽が生まれた。
- A なるほど。
- B 異文化の理解と交流—ネプチューンは率先垂範しているんだね。尺八の勉強で20年前に来日して京都に住み、約10年前には一家そろつ

て県内の鴨川市に住み、長男は地元の小学校に通っているそうだ。

- A ほう、そうだったの？
- B それに、バンドグループも結成したんだ。メンバー7人の楽器は尺八だけでなく、ドラム、パーカッション、ベースなど、すべて「竹」の楽器なんだ。バンドの名も竹だけにひっかけて「竹竹バンド」。どう？ この表現？
- A うまいのは音楽だけじゃないね。
- B ネプチューンが突然尺八を横にして吹いたよね。まるで横笛のように。
- A びっくりしたね。
- B 日本人じゃ考えつかぬ発想と思わないかな？ 尺八は縦に、横笛は横にして吹く—こうした既成概

念にしばられてしまった考えのスタイルが日本人であって、横にして吹けば「とんでもない奴だ」と破門にされるのが日本の社会だ。

世界の中で生きていくには、タテにしたり、ヨコにしたりの発想が必要だということを教えてくれたと思うよ。

- A 面白い見方だね。
- B 名前にしても面白いじゃない？ 日本人は「DUOきょうと」で英語と平かなの並列。そして米国人が「ジョン・海山・ネプチューン」でカタカナと漢字。文字も交流だよ。
- A いろいろ、あるねえ。

縦のものを横にして挑戦

- B 最後だけど。ネプチューンは世界でも一番小さな尺八—それも自分で作ったもの—を吹いたじゃないか。どこまで外国の楽器を使いきるか、その絶え間ない挑戦—これこそ私たちが学ぶべき精神だと思うよ。
- A ふーん。
- B 挑戦といえば、息の続く限り吹いたあの息の長さは驚異じゃなかったかな？ あんなに長く吹き続けるのは、余程の練習がなければと思うんだけどね。新たなるものへの挑戦、絶え間ない挑戦、可能への挑戦—私は1面がふさわしいと思うよ。
- A よーし、今年は挑戦だ！

3年目を迎えて、4つの委員会は独自性を大に発揮しました。

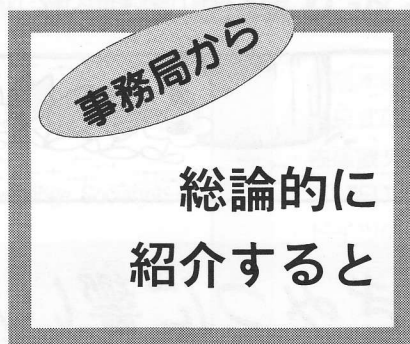
まず「語学委員会」では外国人対象の日本語教室、日本人対象の中国語教室が1年前後を経過しました。各教室は民間交流大使をめざして励んでいます。

次に「都市交流委員会」ですが、協会のメインテーマであった姉妹都市候補地の選定に全力を挙げ、中国の北京市房山区とニュージーランドのパーマストンノース市の2都市を選びました。

そして7月の第1回野外パーティー開催時には、両市の代表を招待、羊の丸焼きを囲みながら多数の外国人も参加して異文化交流を果たしました。2都市への友好調査は8月に房山区へ2名を派遣、本年1月にパーマストンノース市へ1名を派遣しました。両都市訪

問の実情は、報告会やこの会報でかなり報告してまいりました。

さらに「総務委員会」では「会報」や



「ニュース」の発行、パソコンによる会員管理、事務所の管理運営などに苦勞してきました。

最後に「文化交流委員会」ですが、第1回きみつ市民ふれあい祭りに参加、

KIESのハッピーを着て踊りました。

会員の中からお国自慢のサンパの踊りが披露されました。12月にはクリスマスパーティーを開き、予想を上回る400名ほどの人の参加がありました。3月には第1回世界料理教室を開いて中国料理を味わいました。

以上のような対内的な活動だけでなく、対外的な、例えば自治体国際化協会主催の全国大会、県主催の連絡会議、そして近隣3市との交流会などの会合にも出席して、外の空気も吸ってきました。各協会とも悩みがあるようですが、当協会のように毎週会議を開いているところは少ないようです。この情熱とエネルギーで、国との交流、人との交流、文化との交流をこの1年間、また深めていこうではありませんか。

(芝崎・記)

語学委員会は

日本語と中国語教室開く

この地域在住の外国人にとって、文化、習慣、言語、伝統などが全く違う異国での生活は、大変な苦勞があると思います。

一方、この地域でも国際化の時代を迎えて外国人との交流に直面することが多くなり、私たちはこの外国人たちの異文化をよく理解して交流しないと誤解やトラブルが発生することにも直面するようになりました。

お互いの意志疎通、情報交換は言葉を通して行われるわけで、私たちは外国語を勉強し、また外国人は日本語を勉強し、日常生活に必要な最少限の言葉を習得することが望まれます。

語学委員会主導でまず、昨年4月に日本語教室が開講しました。熱心に日本語教授法を勉強した会員が、5教室を開くまでになりました。(現在、1教室が休講中)

また6月には在住中国人の女性を先生に迎えて(都合が悪いときには、中国語に詳しい日本人を先生に)中国語教室を開いています。(志村・記)



◀折り紙を折りながら、この日学んだ文型を会話の中で勉強

日本語教室

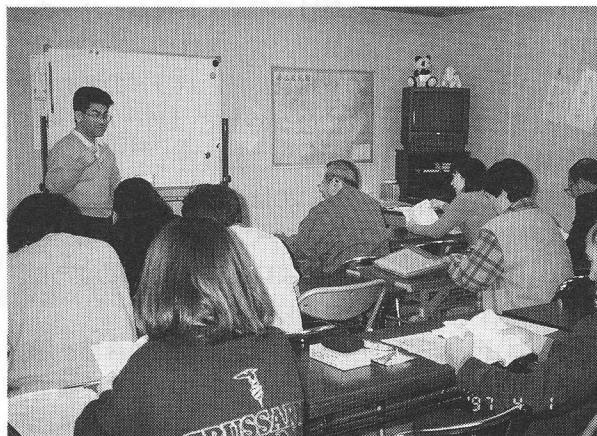
毎週火曜 13:30～15:30

毎週土曜 10:00～12:00

〃 13:30～15:30

毎週水曜 19:00～21:00

(費用は各教室で異なる)



◀きびきびとした先生の指導で実力が向上

中国語教室

毎週火曜 19:00～21:00

(受講料2千円/月)

勉強だけでなく、会員自慢の中国の芸術品や物品展を開いたり、教室だよりを発行、交流を深めている。

都市交流委員会は

姉妹都市探しをメインに活動

都市交流委員会では、年初より君津市の姉妹都市候補地の選定ということを中心において活動してきました。

その結果として、すでにご案内のように中国の北京市房山区と、ニュージーランドのパーマストンノース市を候補地として市の方へ提案しました。

その後、北京市房山区については、昨年の8月26日～8月30日に第1次調査団を派遣し、実情を見聞してまいりました。(会報3号参照) パーマストンノース市については、市が毎年実

施しております海外派遣研修事業の訪問先に組込んでいただき(本年1月24日～1月31日8名参加)、市長への表敬訪問など交流の第一歩を刻んで参っております。

その他の活動としては、海外の人と交流を図るには、まず自分たちの住んでいる町の文化や歴史を知ることが必要であるという考えから、昨年10月市内探訪バスハイクを企画し、多数の参加者とともに楽しく勉強してきました。今後も定期的に続ける計画です。

また国際的視野を広げるために、年2～3回海外事情の講演会を開催しております。直近では、海外派遣団の皆様が「ニュージーランドを語る会」として、今回の派遣におけるいろんな体験談をスライドを使用して説明、また参加者からもたくさんの質問もあり、大変好評でした。

その他ホームステイ事業についても、当委員会では取り組んでいく計画を進めています。

皆様と相談しながら楽しくやっていきます。定例委員会は毎月第2土曜日の午前10時～12時、協会の事務所で開催しています。気楽に参加して、皆様の意見を反映させてください。

(山本・記)

市長室で正装の市長(後列帽子の人)などに歓迎された筆者(前列左から3人目)たち派遣団一行



パーマストンノース市を訪れて

西本 昭子

設もあり、1戸建の価格は15万ドルから28万ドルでした。(訪問時1ドル=87円)さらに一般向けの10万ドルからのものを建設予定ということです。インターナショナル・パシフィック・カレッジ(日本人経営の全寮制大学)やマナワツ博物館、国立のバラ園など、いずれも立派でよく整備されていました。

機械化された酪農家

市の中心部から車で20分も走ると、畑や農場が広がってのどかな風景でした。ファームステイはそんな郊外で行いました。私たちは酪農家のHOUGHTON家に泊まりましたが、乳搾りは機械化され、お手伝いすることは何もなくありませんでした。娘さんが日本で英語を教えていたことがあるそうで、ご夫妻も一度日本に来られたとのことでした。日本は物価が高いとおっしゃっていました。英語は聞きとれないところもありましたが、通じた時はうれしく、心温まる一日を過ごしました。

ニュージーランドでは自然があるがままの姿で私たちを魅了し、人々のおおらかさが安らぎを与えてくれました。本当の豊かさとは何かを教えてくれた気がします。

陽気で気さくな市長

パーマストンノース市は人口75,600人、面積326km²、ニュージーランド6番目の都市で、君津市と規模がよく似ています。マッセー大学をはじめ教育、研究施設も多く“KNOWLEDGE CITY”と称しています。市内の中心に市庁舎や「ザ・スクエア」という公園があり、芝生が美しくバラも咲いていて、市民の憩いの場になっているようでした。

ポール・リーガー市長はとても気さくで陽気な方でした。私たちを歓迎してくださり、市長室で巻き寿司、ピザなどの昼食を一緒にとりました。姉妹都市提携については、「形式にこだわらず、実質的な交流を望んでいる。学生の交流から始めるのが望ましい。日本の学生が2週間くらいこちらの学校

に通うのも良いのでは」ということでした。個人的な意見としては、私もそうした派手ではないが、実質的な内容のものが良いと痛感しています。

市長は6人の子供があり、家庭では料理もするキーウィハズバンド(オスが卵を温めるキーウィにちなんで、家事をよく手伝う夫のこと)だということと、とても親近感を覚えました。

老人施設は民間建設

市長との会見のあと、市内の老人施設を見学しました。驚いたことに、公的な施設はなく、民営の施設がほとんどだそうです。1戸建とケアの必要な人のためのアパートメントがありましたが、明るく、花に囲まれた建物は実に快適そうでした。集会所、プール、トレーニングルーム、図書室などの施

総務委員会は

力を入れた広報活動

事務所の管理と運営を円滑に

昨年の、なんといっても1番のビッグニュースは、事務所の開設でした。改めて関係各位のご尽力に心からお礼申し上げます。おかげさまで協会は、この1年、6ページに記載したように盛り沢山の活動を行うことができました。この経験を生かして、これから、もっともっと実りのある活動が出てくることと思います。

事務所が開設されたばかりなので、昨年度は特にその運営と管理をきちんとする必要があると判断し、明確なルールづくりを進めてきました。

また2種の情報紙「会報」と「ニュース」の発行に力を入れました。協会はボランティアという個の集団で、組織的な面が弱いことを考え、情報紙で会員の連帯感を高めよう、また協会の活動を広く市民各層にPRする必要がある

何よりも情報の収集と提供を

と考えたからです。

当委員会内の委員が2つのグループを誕生させました。1つは「トーク&ダンスクラブ」で、おしゃべりとダンスを楽しもうというもの。もう1つは「パソコンクラブ」で、今、話題のインターネットの開設まで発展させようというもの。前者はいま冬眠中ですが、後者は今年度から大車輪をかけそうです。

総務委員会は昨年4月から10月までは毎週水曜日の午後開いて、また11月から3月までは毎週土曜日の午前中開いて、討議事項の検討から個人的なおしゃべりまでいろいろと話し合ってきました。今年度からは新人も入って、にぎやかになりそうです。例会日におでかけください。おしゃべりを楽しもうじゃありませんか。(井上・記)

おしゃべりが新しい発想生む



本年度の「会報」の発行は2回、「ニュース」は4回を予定しています。

- ・どんな内容がいいか
- ・いつ発行したらいいか

などを検討しています。

広報紙のデザイン、イラスト、割付、編集、校正などに関心のある会員はお集りください。一緒になって楽しい広報紙を作りましょうよ。

ホームページ開設
5月から公開予定
電子メールは4月から
受・発信できます

昨年4月からパソコンクラブが中心になって、インターネットのホームページ開設の研究と準備を進めてきましたが、新年度の予算もつき、いよいよ本格稼働を始めます。4月から電子メールの受信(会員の依頼で発信)ができます。

インターネットを活用している国内外の友人にメールを送りたい会員は、総務委員会までご連絡ください。

また、協会独自に作成したホームページの公開に向けて、精力的に準備中です。5～6月には公開できるでしょう。



KIESをもっと知りたい方は、

<http://www.interbridge.or.jp/~kies/>

インターネットのホームページで
見てください(5月予定)

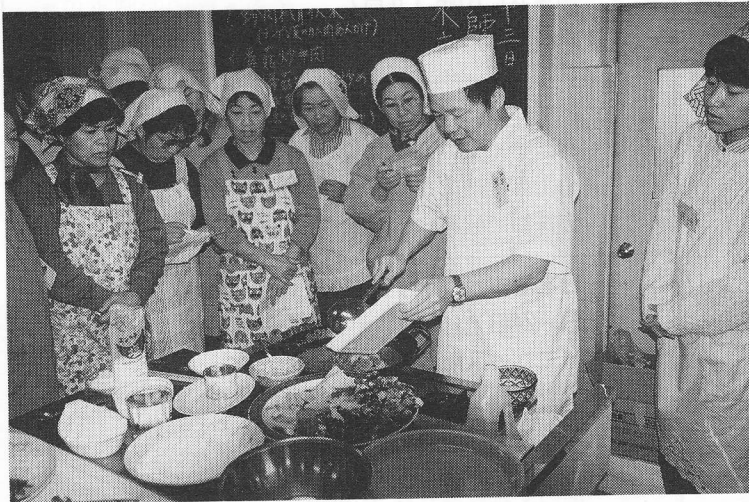
文化交流委員会は

異文化の理解深める

世界の料理シリーズ 第1弾 中国料理編



意気込む皆さん



プロの先生の手さばきに熱い視線(写真左)
ここで少々の調味料をと男性会員(写真下)
さぞかしこの夜の皆さんの夕食は、満足！ 満足？



うまくやれるかどうか

まず最新のニュースからお知らせします。

「世界料理教室」とのタイトルで、3月23日(日)に第1回として中国料理編を開きました。料理は日常生活のもので、いろんな国の料理を習うことで外国人と日常の交流をすすめてみようというわけです。

場所は中央公民館の料理教室。初めてでもあり、うまくいくようにとまず当委員会内で実行してみて、好評であれば一般会員にも広げていこうとやってみました。

先生はホテル千成の料理長の謝水応さん。中国的なユーモアのある話し方に、時おり爆笑がわきました。

プロの先生に見習って

当日の料理は4品で、①まい茸と牛肉の炒め ②チンゲン菜のカニ肉あんかけ ③魚の甘酢あんかけ ④中華風卵スープ。

謝先生は営業用と違って鍋が小さく、火力が弱かったのが、少々面喰らっていましたが、そこは経験豊かな実力派。4品がみごとにできあがりました。

それを見習って6組の会員たち44名がウデを振りました。男性は11名、エプロンをかけた熱心な男性もいましたが、テレビのCMみたいに「あなた作る人、私食べる人」に徹する男性もいました。

料理の秘法を体験から

さて、できあがって試食会。皆「おいしい、おいしい」と食べつくしました。家でさっそく復習してみる、と意

気込む会員もいました。

調味料をたっぷり、酢もたっぷり、料理酒で味を出す、サラダ油で光沢を出す、ゴマ油で香りをつける、ニンニクは使わないなど中国料理の秘法(?)を体得した参加者は「百聞は一見にしかず」の思いを深くしました。

興味を深めた参加者からは、今後、タイ、ベトナム、インド、イタリア、ブラジル、ロシアといろんな国の料理を作りたいとの声があがりました。

昨年やったこと

- 8月3日の「市民ふれあい祭り」に参加、KIESのハッピーを新調して星空の下、楽しく踊りました。お国自慢のサンバを踊った人もいました。
- 10月12日に親子で異文化を体験するキッズクラブを開催。富津公園でゲームで遊んだあと、高宕山に行きお猿さんとの交流?も果たしました。
- 7月の野外バーベキュー大会、12月のクリスマスパーティは全体で取り組みましたが、今年度は文化交流が中心で推進していくことになっていろいろ企画していきます。

→9年度の行事計画として料理シリーズのプランを練っています。皆さん、いかがです？ 文化交流委員会に入って一緒にやってみませんか。(中島・記)

喜びがあった、涙があった

平成8年度を振り返ると

4月	・パソコンクラブ発足(1日) ・「こんなことが奉仕できる」とのボランティア活動登録の受付開始。(1日) ・英文名称はKimitsu International Exchange Societyと決定(5日) ・日本語教室が北子安公園で花見。講師と外国人親子約40名が参加(6日) ・協会の看板を事務所に掲示(7日) ・「ニュースNo.4」を発行(9日) ・事務所開所式を開く。会長、名誉会長、整理組合委員長などが祝辞(12日) ・トーク&ダンスクラブ発足(17日) ・都市交流委員会が日中友好協会と目黒区国際交流協会へ、姉妹都市候補地の調査(19日) ・姉妹都市候補地研究会の発表会を開く(20日) (・中国北京市房山区の代理・張静女史が市を訪問(23日)) ・市の「みどりの日記念植樹祭」に参加。(27日)	8月	・消防本部と市役所が集めた石けんをモンゴルへ送る贈呈式に出席(8日) ・佐藤敏夫文化交流委員長が急逝、一同ご冥福を祈る(11日) ・ドイツのミュンスター大学オーケストラ団員のホームステイ受け入れ(12~14日) ・館山市役所のインターネットを見学(15日) ・姉妹都市候補地の北京市房山区を視察(26日~30日)
		9月	・日本語ボランティア連絡ワークショップに参加(17日、24日) ・「ニュースNo.5」を発行(18日) ・設立1周年記念シンポジウムを開催(29日)
		10月	・キッズクラブがバスハイクを実施(12日) ・都市交流委員会が「市内の歴史と旧家の探訪」を試みる(25日)
		11月	・木更津市国際交流協会設立5周年記念式典に参加(4日) ・'96自治体国際交流セミナーに参加(11~12日) ・第2回運営委員会を開く(18日)
5月	・第1回運営委員会を開く(9日) ・姉妹都市候補地を市に提案(17日) ・駐日ニュージーランド大使の講演会に都市交流委員会が出席(27日) ・平成8年度理事会及び総会を開く。終了後、虹の会代表の藤本幹子女史の「モンゴルに虹をかける」の講演を聞き、草原火災への募金に協力(60,866円)(29日)	12月	・第2回クリスマスパーティーを千葉国際高校で開く400人を超す参加者でにぎわう(22日)
		1月	・「会報No.3」を発行(16日) ・市の海外派遣研修団に協会代表1名が加わってニュージーランドを視察、姉妹都市候補地のパーマストン・ノース市を訪れた(24~31日)
6月	・中国語教室を開講(4日) ・千葉県国際交流団体連絡会議に出席(6日) ・ALTと協会役員の交流会を開く(12日) ・中国北京市房山区代表の張静女史が来協、懇親会を開く(19日) ・「会報No.2」発行(21日)	2月	・国際交流フェスタinきみつ開催。ジョン海山ネプチューンとDUOきょうとの演奏会(1日) ・ニュージーランド視察について視察団の一行とともに市長に報告(10日) ・木更津、富津、袖ヶ浦3市の国際交流協会を訪ね、情報を交換しあう(25日)
	・事務所に窃盗犯侵入(6日)後日、逮捕さる。 ・日本語教室が料理教室を開く。日、米、比の腕くらべ(8日) ・第2回運営委員会を開く(11日) ・第1回野外パーティを開く。中国とニュージーランドからも代表が参加。約400人が集まる(28日)	3月	・ミツバツツジフェスタに参加(2日) ・市町村国際交流協会連絡協議会に出席(4日) ・さわやか国際交流ボランティアのつどいに参加(8日) ・ニュージーランドを語る会を開く(9日) ・文化交流委員会が世界の料理シリーズ第1弾・中国料理を開催(23日)
8月	・ふれあい祭りに参加。夏の夜、星空の下で楽しく踊る(3日)		